

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進に係る事業)

平成 年 月 日

協議会名:各務原市地域公共交通会議

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
【事業内容及び結果概要を記載】	A ・ B ・ C 評価	【事業が適切に実施された(されている)か記載。 適切に実施されなかった(されていない)場合には、 実施されなかった事項及び理由を記載。】	【事業の今後の改善点として、取組内容・関係者それぞれが果たすべき役割等を記載。】
今年度、計画推進事業として、下記の取組みを実施し、形成計画の目標達成を目指して取組みを行った。 ○「ふれあいバス等懇談会」の実施 市内12会場13回の懇談会を開催し、市民との対話の場を設け、平成27年10月の再編に対する意見交換を行った。 ○乗降調査の実施 再編後のふれあいバスについて、全路線を対象に乗降調査を実施し、利用実態の把握に努めた。 ○懇談会、調査の結果を踏まえ、可能な範囲で一部改正や改善に取組み、反映した新路線、ダイヤを反映したマップを作成した。	A	平成27年10月の各務原ふれあいバスの再編後、初となる乗降調査を実施し、再編後の新路線、新ダイヤの利用実態等の把握を行った。 また、調査と合わせて今年度実施した懇談会で市民から受けたニーズ等を踏まえ、調査結果と合わせて可能な範囲で改善や一部改正に取り組んでいる。 これにより、調査事業の結果の一部を既に形としているほか、今回の調査結果を踏まえて、次年度以降の調査事業等を検討しており、適切に実施された。	今年度の調査事業(計画推進事業)では、路線全体の調査を実施しており、来年度以降は、今年度の調査や懇談会の結果を踏まえ、特に課題を抱える個々の路線の調査が必要であるとする。 今回の調査結果を協議会や運行会社等でも共有し、今後、交通事業者と連携し、課題の共有、解決策の検討に取り組んでいく。